

2023年12月14日

京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施しました

土砂流入による脱線事故と電車線断線事故の同時発生を想定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2023年12月14日(木)に宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)と高砂車庫(東京都葛飾区高砂)において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日(日)から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したものです。多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上を図ることを目的として、毎年この時期に実施しています。

今回の訓練では、土砂流入による脱線事故と、強風に煽られた飛来物による電車線断線事故が同時に発生したことを想定し、災害対策本部の設置や関係各方面への連絡通報及び事故復旧の訓練を実施しました。併せて、車椅子をご利用のお客様を含む列車内のお客様の避難誘導、当社社員の操縦によるドローンを用いた現場の状況確認を実施しました。当社と協力会社、佐倉警察署、酒々井消防署、国際医療福祉大学など合計195名が参加しました。

本件の概要は、次頁の通りです。



① 脱線復旧(宗吾車両基地)



② 避難誘導(宗吾車両基地)



③ 電車線復旧(高砂車庫)



④ ドローン操縦(宗吾車両基地)

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2023年12月14日(木) 9時00分～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)
高砂車庫(東京都葛飾区高砂)
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設、京成電設工業、京成車両工業、
京成ドライビングスクール)
佐倉警察署、酒々井消防署、国際医療福祉大学 合計195名

4. 訓練概要 【想定】

(1)土砂流入による脱線復旧対応訓練

前日の夜から早朝にかけて発生した大雨の影響により、宗吾参道隧道出口付近海側より土砂が流入。運転士が非常停止手配を執るも間に合わず、土砂に乗り上げ脱線、乗客7名が負傷。脱線の影響により信号機倒壊、信号ケーブル切断、レール・枕木が損傷。その影響により、宗吾参道～京成成田駅間で運転見合わせ。

(2)電車線断線対応訓練

工事用メッシュシートが強風により飛来し、高砂出庫車両のパンタグラフに絡まりパンタグラフが破損し、電車線を断線、停電発生。その影響により、市川真間～青砥駅間で運転見合わせ。

【内容】

- (1)災害対策本部・現地対策本部の設置と関係各所との連携
- (2)ドローンやウェアラブルカメラを使用した状況把握及びビジネスチャットを活用した情報伝達
- (3)列車防護、連絡通報、車椅子をご利用のお客様を含む列車内のお客様の避難誘導
- (4)事故現場における復旧作業

以 上